岩盤ボーリング柱状図

調査名	二級河川　瀬野川水系　瀬野川支川１７　外　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	№5(畑賀川)	調査位置	広島県広島市安芸区中野三丁目外	北緯	34° 23' 26.4144"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 7月27日～ 令和3年 7月28日	東経	132° 32' 07.2204"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 108.64m	角度	180 上 90 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	6.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機: YBM-05型 / エンジン: ヤンマーディゼルNFD-10 / ポンプ: GP-5

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位/測定月日
1				シルト質砂	茶～灰茶							Q[0](100) / Q[0](100)	・崩積土 ・細粒分を少量～多く混入 ・砂は角ばった細～粗砂	0.50
2	106.44	2.20												
				強風化花崗岩	淡茶	w5	h1	E	VI	d	D	Q[0](100)	・マサ状コアとなる ・指圧で砂質土状に容易に砕ける ・割れ目の判別は不可	
3	105.64	3.00												
				風化花崗岩	灰茶	w4					D	Q[0](100)	・極硬質なマサ状～角礫状コアとなる ・強い指圧で砂質土状に砕ける	
4	104.64	4.00												
					淡白赤		h3					Q[0](100)	・割れ目の判別は不可 ・GL-4.0～5.8mは変質により一部粘土状となる	
5	102.84	5.80										Q[0](100)		
6	102.64	6.00			灰茶		h1							
7														
8														
9														
10														
11														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
4	1.15	4		
	1.45	300		
26	2.15	26		
	2.45	300		
50以上	3.15	50	200	
	3.35	200		
50以上	4.15	50	190	
	4.34	190		
50以上	5.00	50	250	
	5.25	250		
50以上	6.15	50	120	
	6.27	120		

深度－N値図

原位置試験

室内試験

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
			S/WC	5	180			
			S/打込み	0	0	0	W/0	0
7/27		86/ケーシング	SW/MC	5	180	0	W3/45	0
7/28				5	180			